

## 【地域包括支援センター】

高齢になっても可能な限り、住み慣れた地域で暮らしていけるよう地域の様々なネットワークと連携しながら、地域の中核的な機関として高齢者の「医療・介護・福祉・生活支援」等暮らし全般を総合的にサポートする役割を担っています。令和3年度は昨年引き続き自粛生活等もあり、「総合相談業務」を強化しました。

### 1. 総合相談業務

高齢者の様々な困りごとや課題に対して、医療・介護・福祉の専門職がチームで対応し、心身の状況や生活実態を幅広く把握し、医療・介護・福祉サービス・関係機関や制度につなげる等の支援を行いました。夜間休日でも対応できるよう、24時間365日公用携帯を所持し、夜間休日にも緊急時は対応しました。

#### ①総合相談・・・電話・事務所での面談・自宅訪問・同行受診や行方不明者の捜索協力・同行手続き等を実施

相談内容	電話	面談	訪問	病院同行	手続き同行	捜索	夜間休日対応	計	R2年	R元年
介護サービス・介護認定	188	74	106				17	385	492	240
認知症・精神疾患	87	64	35			7	14	207	281	212
保健・医療	79	36	28	9		1	13	166	143	136
権利擁護・虐待	50	24	26		2		4	106	129	54
福祉サービス	7	5	6				2	20	21	18
介護予防	54	60	10				3	127	338	49
家族に関すること	8	4	3				1	16	6	20
経済・生活困窮	41	19	38				4	102	124	115
ケアマネジャー支援	124	120	31	1			3	279	263	34
ケアマネジャー・サービス事業所苦情	31	5	5	1			2	44	39	18
認知症初期集中支援チーム	1						1	2	0	0
その他	20	17	26					63	90	8
計	690	428	314	11	2	8	64	1517	1926件	904件
相談延べ合計	1517件 (64)								(29)	(18)

( )・・・夜間休日対応

## ②出張相談会・各地域の公民館や年金振込日に金融機関などに出向き、相談対応や健康チェックや包括周知を実施

実施場所	三宅郵便局	但馬簡易郵便局	JA みやけ	石見	上但馬	上但馬団地	屏風	東屏風	伴堂	伴堂②	三河
実施回数	4回	4回	4回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回
参加延べ人数合計	258人										

## 2. 権利擁護業務

地域住民・民生委員・ケアマネジャー等の支援だけでは課題解決ができない、適切なサービスにつながらない等の困難な状況にある高齢者に対して、専門的・継続的な視点から支援を行い、虐待防止や成年後見制度に利用促進等を行いました。

虐待相談実件数	3件	事例：87歳女性A、精神疾患の娘と同居、自宅内の家事や食事作りをしていたが、物忘れやできないことが多くなり、娘の精神状態が不安定となり、本人に対する暴言や行動が悪化、心理的虐待の恐れがあると判断。双方の生活の安定のため、本人の介護サービスや娘の障害サービスを利用しながら関係機関と連携しながら支援を継続中。
成年後見制度相談実件数	3件	事例：78歳男性B、家事や金銭管理を全てされていた妻が昨年死去、その後、もの忘れが増加し「金銭を銀行に盗られた、俺の金を狙っている。現金を引き出すから銀行を解約する」等を訴え、易怒性悪化、金銭管理や書類整理が困難となり、認知症と診断。自宅内掃除や洗濯のやり方が分からず混乱され、警察や金融機関からの連絡が度々包括に相談あり。介護サービス導入し、金銭管理のため、成年後見制度申し立てと日々の支援を継続中。

## 3. 包括的・継続的マネジメント支援業務

高齢者の暮らしを支えるため、医療（病院や主治医）・介護（ケアマネジャー・介護サービス事業所等）・関係機関等（地域住民・警察・銀行・配食事業所等）と連携し、個々の高齢者の状況に応じて、包括的かつ継続的に支援を実施。

会議実施テーマ	実施内容	実施回数
①自立支援型地域ケア会議	①本人の興味、関心を引き出す方法 ②実現しやすいリハビリ目標 ③町内のインフォーマルサービスの活用方法 ④膝痛、腰痛に対しての負荷を軽減する方法やペインクリニック受診について 等を担当ケアマネジャーや介護サービス事業所、リハビリ専門職と検討。	10回
②困難ケース型地域ケア会議	事例：70歳独居男性。被害妄想にて近隣住民に迷惑行為が増加し、精神科入院、退院後の本人を支えるため、医療・介護・家族・包括等の関係機関で情報共有と具体的支援方法を検討。	3回

#### 4. 認知症総合支援業務

認知症の正しい知識を啓発したり、早期発見や症状悪化防止の支援、その他認知症の疑いのある人や家族に対する総合的な支援を実施。		
①認知症相談対応		
相談内容		相談延べ件数
事例：①もの忘れがひどくなり、認知症の可能性があるが、病院を受診してくれない。②妄想がひどく、対応に困っている。③徘徊による行方不明者の捜索。④認知症があるが、車を運転している。等		207 件
②認知症サポーター養成講座		
講座名	内容	参加人数
認知症サポーター養成講座	認知症の基礎知識や認知症の人への対応方法等の寸劇を交えた講座を実施。	75 名

#### 5. 介護予防業務

高齢者が要介護状態になっても、生きがい・役割をもって生活できる地域の実現を目的とし、65 歳以上の高齢者全てが参加可能。				
①介護予防教室・・・65 歳以上の人なら誰でも参加できる「体力に自信がある人向け」と「体力に自信がない人向け」の 2 コースを企画し、運動・口腔機能向上・栄養改善・認知症予防を複合したプログラムを実施。				
教室名：きらめきクラブ	実施場所	内容	実施回数	参加延べ人数
パワフルコース（体力に自信がある人）	あざさ苑	運動機能向上・口腔ケア・栄養改善・認知症予防	16 回	330 人
パワーアップコース（体力に自信がない人）			36 回	687 人
②介護予防出張講座・・・各地域で活動されている団体やグループの活動場所に出向き、「介護予防」「健康」についての講座を実施。				
実施内容			実施団体数	実施延べ回数
運動・口腔機能向上・栄養改善・体力測定会（握力やバランス測定）・体測定（体脂肪・筋肉力測定）			8 団体	21 回

#### 6. 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務（ケアマネジャー業務）

介護予防支援・介護予防ケアマネジメント・・・要支援認定者が介護状態を予防するため、心身の状況に応じて必要な介護予防サービスの利用調整や日々の相談対応を実施。		
要支援認定者数（R4 年 3 月末）	介護予防サービス利用者数（R4 年 3 月末）	R3 年度新規利用者数
138 人（要支援①60 人 要支援②78 人）	89 人（要支援①31 人 要支援②58 人）	41 人